令和6年（2024年）度行政評価シート

令和 6 年 8 月 2 日

評価者	こどもみらい部長 廣川 正
-----	---------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	4-(2) 子育て	施策の方針	4-(2)-①子育て家庭への支援
目標とするまちの姿	<p>地域と関係団体等との連携が進み、多様化・複雑化する子育てニーズへの対策が充実し、子育ての不安や悩みを解消するための環境が整備され、地域全体で子育て家庭への支援が行なわれています。</p> <p>鎌倉版ネウボラにより、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援が充実しています。</p>			
主な取組	<p>(1) 子育て支援サービスの充実 多様化・複雑化する子育てニーズに対応するため、各種相談や家庭訪問、保護者の経済的負担軽減策、発達に特別な支援が必要な子どものライフステージに応じた支援などを実施し、様々な子育て支援サービスの充実を図ります。</p> <p>(2) 核家族化・地域社会の希薄化への対応 現在子育てを行っている家庭や、これから子育てを始める人たちに必要とされる情報の把握、子育て支援情報の積極的な提供を行います。</p> <p>(3) 協働による子育て支援ネットワークの構築と支援 市民やNPO との協働による子育て支援ネットワークづくりを進めるとともに、活動への支援を行います。</p> <p>(4) 児童虐待防止対策の推進 子ども家庭総合支援拠点を設置し、子どもと家庭全般に対する支援を充実させるとともに、関係機関と連携体制を構築し、児童虐待防止対策を推進します。</p> <p>(5) 子どもの貧困対策 ひとり親家庭が必要とする支援を受けることができるよう、各種支援制度の積極的な周知、支援制度の充実に努めます。</p> <p>(6) 幼児教育の無償化 幼児教育の負担軽減を図る少子化対策、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性から幼児教育を無償化します。</p> <p>(7) 鎌倉版ネウボラによる支援 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行うことで、出生率の向上や子育てに対する不安の解消を図り、安心して出産・子育てができる環境づくりを進めます。</p>			

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

こどもみらい部

・こども家庭庁の設置に伴い、今後、様々なこども施策が実施される見込みであることから、常に情報収集に努め、遺漏がないよう確実に事務を進める。
 ・公立保育所における在園児の安全確保を図るとともに、子育て支援や保育サービスの運営維持に努めていく。
 ・庁内外の関係機関等とともに(仮)ケアラー条例や調査結果を踏まえ、ヤングケアラーの支援策について検討を行う。
 ・子育て支援センターについては、利用者の安心・安全への配慮と、利用者(子育て中の親子)の利用しやすさの両立を目指す。また、令和6年度に開設予定の(仮)腰越子育て支援センターについても、事業者と協議を経て、運用方法を確定する。
 ・伴走型相談支援と一体的に実施する出産・子育て応援交付金事業を継続的に実施することで、ニーズに即した効果的な支援が全ての妊婦、子育て家庭に確実に届くことを目標とする。
 ・放課後かまくらっ子いなむらの新施設建設に向けた課題を解決する。
 ・「いなむらがさき」について学校教育の場という本来のあり方を踏まえ、学校と調整・連携しながら子ども達の放課後の時間がより充実するよう取り組んでいく。
 ・「おなり」については、旧図書館として有形登録文化財への登録をめざし進めていく。
 ・発達支援サポーター養成講座の継続実施と、発達支援サポーターの活動回数を増やし、支援体制の拡充を図る。発達支援コーディネーター講座の参加者(園)を増やし、市内幼稚園、保育園等の支援力を高める。出張相談の新たな場の開拓と、巡回相談との連携、ペアレントトレーニングは市職員講師を増やす。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	8,978,014	9,078,900	9,376,924	10,037,124		
人件費	1,721,072	1,511,946	1,803,724	1,509,760		
総事業費	10,699,086	10,590,846	11,180,648	11,546,884	0	0

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	こども-01	児童福祉運営事業		6,717	27,266	33,983	拡充	A	拡充
	こども-02	子育て支援事業		12,320	24,307	36,627	拡充	A	拡充
	こども-03	地域子育て支援拠点事業		2,432	3,798	6,230	休止・廃止	A	休止・廃止
	こども-04	公立保育所管理運営事業		326,672	7,596	334,268	現状維持	A	現状維持
重	こども-05	就園支援事業		215,410	17,392	232,802	拡充	A	拡充
	こども-09	児童福祉運営事業		8,131	7,960	16,091	現状維持	A	現状維持
重	こども-10	特定教育・保育施設支援事業		4,286,438	22,590	4,309,028	現状維持	A	現状維持
	こども-11	特定地域型保育支援事業		237,347	18,792	256,139	現状維持	A	現状維持
重	こども-12	特別保育事業		136,003	27,234	163,237	現状維持	A	現状維持

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	こども-13	私立保育所等助成事業		613,348	7,596	620,944	拡充	A	拡充
	こども-14	公立保育所管理運営事業		312,706	864,540	1,177,246	改善・変更	A	改善・変更
	こども-16	児童福祉運営事業		44,672	33,026	77,698	拡充	A	拡充
	こども-17	子育て支援事業	法定	125,908	5,317	131,225	改善・変更	A	改善・変更
	こども-18	地域子育て支援拠点事業		47,015	3,798	50,813	拡充	A	拡充
	こども-19	ファミリー・サポート・センター事業		12,821	3,038	15,859	改善・変更	A	改善・変更
	こども-20	養育支援訪問等事業		5,359	7,596	12,955	拡充	A	拡充
	こども-21	小児医療助成事業	法定	763,894	17,312	781,206	現状維持	A	現状維持
	こども-22	未熟児養育医療事業	法定	4,101	760	4,861	現状維持	A	現状維持
	こども-23	児童手当支給事業	法定	1,785,326	12,676	1,798,002	現状維持	A	現状維持
	こども-24	入院助産等事業	法定	5,157	1,519	6,676	現状維持	A	現状維持
	こども-25	ひとり親家庭等生活支援事業	法定	250,366	11,995	262,361	改善・変更	A	改善・変更
	こども-26	ひとり親家庭等医療助成事業	法定	51,168	2,279	53,447	現状維持	A	現状維持
重	こども-27	母子保健事業		124,564	147,722	272,286	拡充	A	拡充
重	こども-28	放課後子ども総合プラン等管理運営事業		575,399	48,582	623,981	現状維持	A	現状維持
	こども-33	発達支援事業		15,634	110,196	125,830	現状維持	A	現状維持
重	こども-34	発達支援サポートシステム推進事業		737	64,278	65,015	拡充	A	拡充
重	こども-35	地域における障害児支援体制整備事業		175	8,316	8,491	拡充	A	拡充
	こども-36	あおぞら園管理運営事業		67,304	2,279	69,583	現状維持	B	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

こどもみらい部

・こどもまんなか社会の実現に向け、国の提唱する「こどもまんなかサポーター宣言」を行ったほか、令和6年度予算編成にあたり、「かまくらまるごと子育て・子育て戦略—きらきらプロジェクト—」を策定した(令和6年度から実施予定)。

・多様化する子育てやこどもの悩みに対応するため、第6分庁舎に「かまくらこども相談窓口きらきら」を開設し、運営した。

・令和6年度で「鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン」の計画期間が終了することから、次期計画の策定に向け、ニーズ量調査を実施した。あわせて、こども自身へもアンケート調査を行い、子育て施策等に係る意見を聴取した。

・幼児教育無償化を実施するとともに、第2子保育料の無償化を継続し、多子世帯の負担軽減を図った。

・施設整備による定員増や保育士確保策などを実施し、待機児童の解消に取り組んだ。

・小児医療費の助成対象を令和5年10月から18歳まで拡大し、さらなる子育て支援の充実を図った。

・令和5年2月から、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施する出産・子育て応援交付金事業を継続的に実施した。

・ヤングケアラー支援については、令和6年度から本格的な支援を行えるよう学校等関係機関や支援団体等との連携を図るため、ヤングケアラーコーディネーターの雇用準備を行うとともに、専門的見地からのアドバイス等を受けるためのヤングケアラースーパーバイザーやピアサポート体制等の構築に向けて、人件費や委託料等の予算化を図った。

・子育て支援センターについては、既存の4施設については利用者の安心・安全への配慮と、利用者(子育て中の親子)の利用しやすさの両立を目指し運用した。また、令和6年度に開設予定の腰越子育て支援センターについては、運営予定事業者に施設整備等に対する補助金を交付するとともに、令和6年(2024年)7月からの週6日の開所や一時預かりの実施等を前提として協議を行った。

・かまくらっ子発達支援サポーターの制度変更を行い、地域の支援者を増やす取組を行った。

・発達支援コーディネーター養成講座内容の充実、出張相談の回数拡大、ペアレントトレーニングを市職員が主体で行うなど、身近な地域での支援が受けられる体制の整備を進めた。

・母子健康手帳の交付とともに、妊産婦健康診査補助券等の交付を行い、健診費用の負担軽減を図った。

乳幼児健診や育児教室、健康相談の機会を設け、乳幼児の成長の確認、保護者の育児支援を図った。幼児健診は、感染対策のため、完全予約制で実施するとともに、受診期間を過ぎての受診も可能として受診勧奨を実施し、受診率の維持に努めた。産後ケア事業や産後のお母さん向け配食サービス等をとおして、産婦の支援の充実を図った。

※実施できなかった事業とその理由

なし

5. 成果指標

成果指標①		合計特殊出生率						出典	神奈川県衛生統計年報	
平成29年	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	1.18	目標値	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27	1.28	%	公表は翌々年度となるため記載不可
		実績値	1.15	1.2	未定	未定				
		達成率	94.3%	97.6%	—	—				

成果指標②		地域で子育てを支えるまちが実現していると感じる市民の割合 (鎌倉市SDGs未来都市計画 指標)						出典	市民アンケート調査	
令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	43.3	目標値	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0	%	
		実績値	未実施	57.9	51.3	53.6				
		達成率	—	125.9%	109.1%	111.7%				

成果指標③		乳幼児健診の受診率						出典	市町村母子保健報告		
平成30年度	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考		
初期値	4か月児 96.0 お誕生 前 95.4 1歳6 か月 児 96.2 3歳児 94.3	目標値	96.4	96.8	97.2	97.6	97.8	98.0	%		
			95.9	96.4	96.9	97.4	97.9	98.0			
		実績値	96.5	96.8	97.2	97.6	97.8	98.0			
			95.0	95.7	96.4	97.1	97.8	98.0			
達成率	90.0%	102.0%	100.7%	102.4%				%			

成果指標④		「子育てに関する情報を得やすい」と感じている市民の割合						出典	市民アンケート調査	
令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	39.3	目標値	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	%	
		実績値	未実施	52.6	47.9	51.6				
		達成率	—	128.3%	114.0%	120.0%			%	

成果指標⑤		幼稚園預かり保育対象者数						出典	幼稚園・認定こども園(幼稚園部分)預かり保育延べ人数調査	
平成30年度	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	62,427	目標値	63,791	63,103	62,381	61,710	60,988	60,988	人	
		実績値	36,424	48,006	52,085	51,052				
		達成率	57.1%	76.1%	83.5%	82.7%			%	

成果指標⑥		子育て支援センター(つどいの広場)の利用者数						出典	①子育て支援センター活動報告書 ②つどいの広場年間集計表	
平成30年度	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	①子育て支援センター 39,771	目標値	37,227	37,115	37,264	36,557	38,050	38,496	人	
		実績値	15,170	20,384	26,761	40,743				
		達成率	40.7%	54.9%	71.8%	111.5%			%	
	②つどいの広場 3,597	目標値	2,824	2,789	2,754	2,718	446	0	人	
		実績値	653	1,948	2,222	2,243				
		達成率	23.1%	69.8%	80.7%	82.5%			%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

こどもみらい部

・経年劣化した施設や設備に対して、可能な限り公立保育所の維持修繕を図った。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

こどもみらい部

・こども家庭庁や神奈川県が発信する情報について庁内周知を行い、関係事務を進めた。
・こどもの目線にも立った、こどもや子育てにやさしい社会(こどもまんなか社会)を目指し、「かまくらまるごと子育て・子育て戦略ーきらきらプロジェクトー」を策定した。
・子育て支援や保育の運営面において、安全に保育を行うための施設の維持に努めた。
・私立保育所に対し、職員の処遇改善等や雇用に係る経費の補助を行って保育士の確保を図り、保育環境の向上に努めた。
・経年劣化した施設や設備に対して、可能な限り公立保育所の維持修繕を行い、保育の質の確保や安全性の維持・向上を図った。
・小児医療費の助成対象を令和5年10月から18歳まで拡大し、さらなる子育て支援の充実を図ることができた。
・令和5年2月から、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施する出産・子育て応援交付金事業を継続的に実施しているが、ニーズに即した効果的な支援が妊婦、子育て家庭に確実に届けることができた。
・令和6年度からヤングケアラーを支援するための施策の拡充を図ることができた。
・腰越子育て支援センターの基本的な運営内容の確認をすることができた。
・新放課後子ども総合プランを市内全16小学校区で展開することで、待機児童を発生させず、子育て世代のニーズに応えている。
・運営にあたり、小学校校舎内で実施している「いなむらがさき」においては、学校教育の場という本来のあり方を踏まえ、学校敷地内への施設建設に向けて学校等と協議調整を行った。
・「おなり」については、有形登録文化財への登録が決定した。
・現場での活動のマッチングの課題解決のため、かまくらっ子発達支援サポーターを有償ボランティアから会計年度任用職員への制度変更を行い、制度の安定化を図ることができた。
・発達支援コーディネーターのフォローアップ研修の実施、出張相談の回数増加、市の職員が講師としてペアレントトレーニングを実施し、支援体制の強化を図ることができた。
・母子健康手帳交付時に母子保健コーディネーターが妊婦やパートナーと面接することで、産前産後の不安の軽減を図り、かつ産後ケア事業や乳児家庭全戸訪問事業等につながりやすくし、安心して子育てに臨める環境づくりに繋がることができた。

8. 今後の方向性

こどもみらい部

- ・市役所第6分庁舎のかまくらこども相談窓口さらさらについて、市民の利用促進を図るため、更なる周知等に努める。
- ・今後も施設の経年劣化箇所が増えることが想定されるため、各保育園から報告される不具合状況を把握するとともに、現場確認を行い、優先順位を踏まえた計画的な維持修繕を図っていく必要がある。
- ・建築基準法第12条に基づく定期点検の結果を踏まえ、施設の修繕を着実に実施していく。
- ・私立保育所、幼稚園、認定こども園やその利用者に対する補助を継続するとともに、引き続き、幼稚園における預かり保育、保育所における一時預かり事業、病児・病後児保育事業など、多様な保育サービスの実施に努める。
- ・伴走型相談支援と一体的に実施する出産・子育て応援交付金事業を行うことで、安心して出産・子育てができるようになることを継続していく。
- ・子育て家庭に対する情報提供、育児相談に応じ、育児不安などの解消を目指して、地域子育て支援拠点事業の実施により子育てに関する多様なサービスや情報の提供を継続していく。
- ・地域ぐるみで子育て家庭を支えるため、育児等の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり会員同士で相互援助活動を行う、ファミリー・サポート・センター事業を継続していく。
- ・児童虐待を未然に防止するとともに、早期に発見し支援することで、児童が心身ともに健全に発育発達できるよう子ども家庭支援事業を拡充していく。
- ・放課後かまくらっ子は多様な体験・活動ができる場として、多世代や地域との交流を図り、地域づくりとの拠点となるよう引き続き事業を進めていく。
- ・「いなむらがさき」について新施設を建設し子ども達の放課後の時間がより充実するよう取り組んでいく。
- ・発達支援サポートシステム推進事業においては更に受講者や幼稚園・保育園等の活動の場を増やし、発達に支援を必要とする子どもと保護者が、身近な地域で支援を受けることができる支援者の拡充を図る。発達支援コーディネーターの拡充、出張相談の場を拡充する、ペアレントトレーニングは市職員講師を増やしていく。
- ・妊産婦健康診査費用の補助の拡充や産後ケア事業の自己負担額の軽減を拡充することで、孤立したり、不安を抱えたままの子育てにならないよう、きめ細やかに、寄り添った支援を実施していく。

9. 今年度(評価年度)の目標

こどもみらい部

- ・こども家庭庁の設置に伴い、様々なこども施策が実施され、今後も実施される見込みであることから、常に情報収集に努め、遺漏がないよう確実に事務を進める。
- ・「かまくらまるごと子育て・子育て戦略ーきらきらプロジェクト」を通して、こどもの目線にも立った、こどもや子育てにやさしい社会(こどもまんなか社会)を目指した、子育て・子育て支援施策を推進していく。
- ・鎌倉市子ども・子育てきらきらプランの計画期間が令和6年度で終了するため、次期計画を策定する。
- ・公立保育所における在園児の安全確保を図るとともに、子育て支援や保育サービスの運営維持に努めていく。
- ・幼稚園預かり保育の周知に努め、幼稚園・認定こども園(幼稚園部分)預かり保育の延べ人数の増加を図る。
- ・公立保育所における在園児の安全確保を図るとともに、子育て支援や保育サービスの運営維持に努めていく。
- ・伴走型相談支援と一体的に実施する出産・子育て応援交付金事業を行うことで、安心して出産・子育てができるようになることを継続していくことを目標とする。
- ・ひとり親家庭が必要とする支援を受けることができるよう、各種支援制度の積極的な周知に努めていく。
- ・腰越子育て支援センターの運営を開始する。
- ・家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに家事・子育て等の支援をするため、子育て世帯訪問支援事業を実施する。
- ・課題を抱える児童の居場所を提供するため、児童育成支援拠点事業を実施し、児童とその家庭が抱える多様な課題に応じて、生活習慣の形成、学習のサポート、進路等の相談支援、食事の提供等を行い、個々の児童の状況に応じた支援を包括的に提供する。
- ・児童との関わり方や子育てに悩み・不安を抱えている保護者及びその児童に対し、児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言など必要な支援を行い、親子間における適切な関係性の構築を図るため、親子関係形成支援事業を実施する。
- ・子育て家庭の不安解消、状況把握の機会など、子育て家庭との接点を増やすため、こども家庭センターを補完する地域子育て相談機関を設置する。
- ・ヤングケアラーについて周知啓発を図るとともに、ヤングケアラー当事者同士で支え合えるよう、集える場の整備を図る。
- ・放課後かまくらっ子いなむらの新施設建設を行い、学校と調整・連携しながら子ども達の放課後の時間がより充実するよう取り組んでいく。
- ・かまくらっ子発達支援サポーター養成講座の継続実施と、発達支援サポーターの幼稚園・保育園等での活動の場を増やし、支援体制の拡充を図る。発達支援コーディネーター講座の参加者(園)を増やし、市内幼稚園、保育園等の支援力を高める。出張相談の新たな場の開拓と、巡回相談との連携、ペアレントトレーニングは市職員講師を増やす。
- ・より一層、きめ細かな支援の充実を図るとともに、健診等により、乳幼児の成長発達を確認し、安心して子育てができる環境づくりに努めていく。